

令和7年度江別市大学連携調査研究事業
研修・交流企画



学校と地域で考える幸せな不登校・ひきこもりの処方箋
～学校と地域がつながるために～



2026年 2月 2日(月)

18:00-20:00(接続開始17:45)

開催形態 オンライン(zoom)

参加費
無料
(要申込)

講師：加藤 隆弘 氏

(北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室 教授)

ひきこもり研究ラボ@九州&北海道・代表

《著書》「みんなのひきこもり：つながり時代の処世術」

「逃げるが勝ちの心得：精神科医がすすめる「うつ卒」と幸せなひきこもりライフ」他多数

不登校児童生徒数が35万人を超え、社会全体の課題となっています。一方で、新規不登校数が9年ぶりに減少するなど、現在は大きな転機でもあります。

本企画では、医療の視点から見た不登校・ひきこもり理解と、病的ではない「幸せな不登校・ひきこもり」「不登校・ひきこもりという生き方」を学び、江別市の最新調査データを共有。学校・家庭・地域が手を取り合うための「これからの方針」を考えませんか？

18:00~

【講演】未来人になって現代の不登校・ひきこもりを考える
：支援のための5つのステップ「ひ・き・こ・も・り」

講師：加藤 隆弘氏 (北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野
精神医学教室)

19:15~

【調査報告】「令和7年度調査から見える、
学校と社会資源が協働する不登校支援」

報告者：澤 聰一 (江別子どもの居場所ニーズ調査グループ・北翔大学)

19:30~

【参加者交流会】

Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて、参加者間の
交流を企画しています

対象

学校教職員の先生方および
不登校支援に関わる機関等で
活動する方々

申し込み方法

下記の2次元コー
ドを読み込んで、
お申し込みを
お願いします。



企画

江別子どもの居場所ニーズ調査グループ ご連絡・お問い合わせ先：澤 聰一

MAIL : sawat@hokusho-u.ac.jp

<https://forms.office.com/r/e07tZSEZb2> [申込期限 2026年1月27日(火)]

《この企画は、『江別市大学連携調査研究事業補助金』を受けて実施しています。》